

第2回市民自治推進委員会議事概要

1 日 時 令和5年7月28日（金） 10:00～11:30

2 会 場 鳥取市役所本庁舎 6階 第4会議室

3 出席者

(1) 委 員 神部委員、倉持委員、佐藤委員、鈴木委員、田中委員、谷口委員
椿委員、徳田委員、中川委員、松本委員（50音順）10名出席

(2) 鳥取市 協働推進課：北村課長、西垣課長補佐、大塚主事、小川主事

5 議 事

(1) 報告事項

① 公民連携デスクの進捗状況について【資料1】

(事務局) 【資料1説明】

(委 員) 協議案件となっている講座提供に関する提案のうち、複数の課にまたがって対応しているものがあるがその理由は何か。それぞれの課で事業をするという認識でよいか。

(事務局) 提供いただける講座テーマが多岐に渡るため、部署ごとの講座開催に向けて柔軟に対応いただいている状況である。各課の事業として事業化に向けて調整を進めている。

② 地区公民館の幅広い活用に向けた検討状況について【資料2】

(事務局) 【資料2説明】

(委 員) この変更は社会教育法第21条、もしくは地方自治法第244条どちらで変更することになるか。

(事務局) 地方自治法の第244条の規定により、地区公民館を変更していく方向で考えている。

(委員) 地区公民館の幅広い活用は、協働のまちづくりガイドラインのうち「柱5 持続的な協働のまちづくりの促進」に該当するということが良いか。また、地区公民館の幅広い活用は、柱1にあるようなまちづくり協議会を後押しすることにもつながるという認識で問題はないか。

(事務局) その認識で間違いない。まちづくり協議会の様々な取り組み、例えば地域の産業振興といった部分も幅広い活用を進めることでより事業が進めやすくなり、まちづくり協議会の活動の幅も広がっていくことを期待している。

(委員) 市内61地区あるなかで、居住人数に関わらずまちづくり協議会への財政支援が一律である。活動内容を査定していただいて、事業によって重みづけをしていただきたい。

(2) 協議事項

①自治基本条例の見直しについて【資料3】

(事務局) 【資料3説明】

(委員) ①これまでの見直し時は各論的なことが多いが、総論的なことも話し合っているのかどうか。②自治基本条例は他の条例とどのような位置づけとなっているのか。③語尾が「です、ます」の敬体で表現されているがどのような意図でされているものか。

(事務局) ①総論的なことも含めて見直し検討を進めていきたいと考えている。②協働や自治の推進について、他の条例も自治基本条例に沿った内容でつくっていくこととしている。③市民にもわかりやすい、親しまれる条例にするために「です、ます」の敬体で表現している。

(委員) この条例をつかって行政不服申し立てをすることができるのか。できるのであれば厳密に作る必要がある。また、全体的に何をしたいのかがふわっとしている。市民向けに書いてあるということだが、定義が薄いと思われる。そもそも「自治」の定義がない。

(委員) 鳥取市自治基本条例の解説が別で作成されているので、そこで読み取ることもできるかと思う。

(委員) 別冊子を参照しながら読み取るよりは、なるべく丁寧に条例に盛り込んでいったほうが良いかと思う。別冊子から必要と思われる部分は条文に移し替えていき、地域住民が条文を読んでもわかるような作りにしたほうが良いと思う。

(委員) 市民が理解できるような条例に整理していただきたい。

(委員) 本委員会はどのような立場で発言をしたらよいか。私は団体を代表して委員会に出席しているわけだが、個人としての意見で良いのか、それとも団体の意見として発言するべきなのかを聞きたい。

(事務局) 重要なポイントは団体に持ち帰っていただき議論をいただきたいと考えるが、その他の項目については市民一個人としてのご意見をいただければと考える。

(委員長) 私自身、所属団体の運営に携わる中での知見を活かして、委員会では話しているようなところ。このテーマについてはこの委員さんの所属団体にはかかっていただきたいということを委員会の中でお伝えし、そのポジションだから知り得る知見を集約していただくのが良いのではと思っている。また、事務局と相談のうえ、整理をしていく。

(委員) コミュニティセンターの位置づけをはっきり明記したほうが良い。第13条第5号関係で「地区公民館等」としているが、「地区公民館及びコミュニティセンター」などとしたほうが良いのでは。

(委員) 前回条例を改正する時点では、指定管理制度がはっきり確定していない段階だったので「等」という表現でとどめている。今回の見直しで改めて検討していけばよいと思う。

(委員) 第5条第3項「市民が参画及び協働しないことによって、不利益を受けることがないように配慮します。」とあるが、参画しすぎることで不利益を受けることがあるのではないかと思う。この記述は削除してもよいのではと感じた。

(委員長) そのような気になる部分を本日配布している「自治基本条例の見直し検討ワークシート」に記載いただいて事務局までご提出いただければと思う。

(委員) 自治基本条例の見直しを進めるうえで、スタンスを確認させていただきた

い。行政と市民が対等な立場で、ともに力をあわせてより良い鳥取市をつくっていきましょうという考えが根底にあり、その中で行政と市民のそれぞれの役割を明確にしたものがこの条例だと考えている。そのスタンスのもとで見直していくということによいか。

(事務局) はい、その考え方で条例を見ていただけたらと思う。

(委員長) 前回の見直し時は議論すべき議題が多くあり、小委員会という形で何名かの委員さんにお声かけさせていただき、話を詰める、たたき台をつくっていくという時間をとらせていただいた。今回も2年目(令和6年)の秋までには答申書を出さないと条例改正ができないスケジュールとなっているので、場合によっては今回も小委員会の形をとることも考えられるので、その際はご協力をお願いしたい。

②参画と協働のまちづくりフォーラムについて【資料4】

(事務局) 【資料4説明】

(委員長) 特にやり方に指定はないが、新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴ってイベントや行事が再開している状況ではあるので、対面開催の選択肢もあると考えられる。一方で、DVD等により記録に残ることで、公民館やまち協など地域で確認いただけることにつながっているので、パネルディスカッションをする場合は動画で残せるようにしてもよいかと考えている。中身自体は決まったテーマはないのでご意見をいただきながら決めていけたらと思う。

(委員) 現在、各地域では「地域づくりの担い手」が課題になっている。これは若者を始めとして地域住民が参加していける仕組みをつくれていないからだと感じている。こういう取組がある、こんな仕組みをつくるのが大事といったようなことがあれば参考になるのではないかと思う。

(委員) 人が集まるような要素を盛り込んだうえで、各地域で若者の参画に取り組まれている先事例を紹介していただけるようなものがあればよいと思う。

(委員) 若者の担い手が少ない理由として「関心がない・時間がない」ということが大きいと思う。子どもたちを巻き込んでいける方法を考えていけたら、保護者

世代の若者の参画も期待できるのではないかと考えている。

(委員) 城北地区ではまさにその活動に取り組んでいる。納涼祭を実施するにあたり、保護者世代に地域デビューをしてほしいと思い、その世代にアイデアを出していただきながらそのアイデアを実現していくような方法をとっている。また、各町内からの動員は保護者世代から必ず1人は参加いただくようお願いをしている。地域デビューをして地域の良さを知っていただくことによって、次につながっていくものと考えている。若い世代が参画できる「場」をつくってあげることが重要だと思う。

(委員) 各地域で様々な事例を持っておられると思うので、それを持ち寄っていくのが良いと思う。地域によっては少子化が急速に進んでいるエリアがあり、若者世代の絶対数が少なくなるという根底の問題がある。この委員会もこのメンバーでずっと続くわけではないので、次の世代も参加していかないといけない。この問題について考えていける機会をつくっていく必要があると感じている。

(委員) 次につなげていくために、「どう関心をもっていくか」「何をどうしたらよいまちづくりにつなげていけるか」を繰り返し問答していかないといけない。地域の実情に応じて課題は様々だが、それぞれの地域でどう住み続けていくのかを考えていく必要があると思うので、その機会をどう捉えていって、どの場面でどういう話をしていくのかを考えていかないといけない。

(委員) 小学校を卒業してしまうと地域への参加が少なくなってしまう。中学校や高校に通っていても参加してもらえそうな内容を企画できればよいが、学業で忙しく地域の活動に目を向けられないことが多い。単身世帯も増えており、若い世代に参加を呼びかけるには魅力のある取組が必要だといつも思っているがなかなか難しい。

(委員) 「若者世代の地域参画」のテーマは過疎問題も解決するような大きなテーマなので、大きな視点から話をすると難しい部分ばかりが浮き彫りになってしまいう懸念もある。ただ、細かい現場レベルでみていくと解決の糸口もあると思うので少しずつ追い求めていく必要があると思う。一方で、今の人口構成のうち割合の高い高齢者の方が元気に楽しく過ごせるまちをつくっていくことも考え方の1つではないかと思う。若者を取り込むことも大切だが、地域の大きな層のニーズをくみ取っていける取組も必要ではないかと感じている。

(委員) テーマがシビアなものになると人数が集まりにくいことも想定されるので、お楽しみ要素も盛り込んでいけたら良いと思う。また、地域デビューがまだの方にはそのきっかけにつながるものになればと思う。このフォーラムはあくまでも「入り口」として、それぞれの地域に戻っていただいた際に「自分たちの地域はどんな地域なのか、どうありたいのか」ということを考え、地域の特徴に合わせた、日々日常の動きにつながるような取組にできればと思っている。

(委員長) 事務局側でもまとめていただき、委員の皆さまからもこの方の話がききたいなどのご意見があれば事務局まで伝えてもらいたい。フォーラム自体は「対面ベース」で企画を考えていく方針で進めていけたらと思う。

(3) その他

(事務局)

今回は、10月下旬から11月中の開催を予定している。

本日配布している「自治基本条例の見直し検討ワークシート」は9月29日(金)を期限として、事務局までご提出をお願いしたい。